

小田原の住宅 1978

富永讓

建築概要	
所在地	神奈川県小田原市
敷地面積	1,905.00 m ²
建築面積	76.50 m ²
延床面積	66.42 m ²
1階床面積	52.26 m ²
2階床面積	14.16 m ²
構造	木造
階数	地上1階

野津田を呑んだ600坪ほどの広い敷地に、ぽつんと建てられているこの住宅は、若い夫婦が住むことを想定している。苦みしい涼みさを表すかのように外壁の色として白色がふんばんに使用されている。周囲から見れば、一見ただの直方体の建物のように思えてしまうが、内部を覗くとガラッと変わって見える。内部では外部と違って、内装に加工された壁やレベル差のある床面が空間を切り裂くように配置されている。梁や柱が壁と分離して設置されていることも、この住宅の大きな特徴の一つだ。

個人的な感想として、基準とのズレをおぼえさせている点がとても印象深く感じた。通常、梁や柱は壁の中に組み込まれるが、ここではそれを壁と分離させて設置することで美しく見せようとしている。梁や柱でここが美しくなるものなのだととても驚かされた。

